

令和7年度 研究成果報告会 & 見学会

成長分野と企業をつなぐ、
滋賀県発イノベーションの最前線。

滋賀県工業技術総合センターでは、研究活動によって生み出された成果を広くお伝えする場として研究成果報告会を開催しています。本年度は、水を使わない染色技術の実用化や金属3Dプリンターによる造形技術の高度化、デジタル技術を用いた陶器製造といった最新の技術について報告します。このほか、滋賀県が成長産業分野への新規参入促進とイノベーション創出を目的として整備する「イノベーションベース」や、関西広域連合による企業支援基盤である関西広域産業共創プラットフォームのご案内、施設見学など、皆さまの事業活動のヒントとなりうる内容をご紹介します。皆さまのご参加をお待ちしております。

開催日 2026年2月6日(金)

会場

滋賀県工業技術総合センター
2階 大研修室

(研究成果報告終了までオンライン同時配信)

スケジュール

13 : 30～13 : 40 開会挨拶

13 : 40～14 : 15 概要説明

- ・ 滋賀県工業技術総合センター
- ・ しがテックイノベーション創出事業
- ・ 関西広域産業共創プラットフォーム

14 : 15～15 : 00 研究成果報告「水を使わない糸染色～超臨界流体染色～ 実用化に向けて」

有機材料係 上田中

大量の水とCO2が排出されるデキスタイル染色の環境対応策として、無水染色が目立っています。今回、水や有機溶剤を用いることなく染色を行う次世代の環境調和型染色技術を確立しましたので、その実用化事例と共に紹介します。

「パウダDED方式による
ステンレス丸棒上への積層造形における変形に関する研究」

機械システム係 戸田

指向性エネルギー堆積法（DED法）を用いた金属3Dプリンタでは、造形時に粉末や母材にレーザを照射し溶融させるため、母材の熱変形が問題となります。今回は、造形時の母材の熱変形挙動についての研究成果を報告します。

「3D技術を活用した国スポ・障スポ用の炬火受け皿の開発製造」

信楽窯業技術試験場 陶磁器デザイン係 桐生

今年度で開催された国スポ・障スポで用いた炬火受け皿は、デジタル加工技術を用いて作製しました。本発表では、デジタル技術を導入したことによる陶器製造の進化について紹介します。

15 : 05～16 : 20 施設見学

お申込み : <https://www.shiga-irc.go.jp/info/news>

お問い合わせ先 : 滋賀県工業技術総合センター 大山・間瀬・坂山
(滋賀県栗東市上砥山232 Tel:077-558-1500)

